

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ健康課	職	課長	氏名	濱辺 正実
評価者	組織	スポーツ健康課	職	課長	氏名	濱辺 正実

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	学校体育・健康教育の推進	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	49.9 (H22)	50.8 (H23)	B
施策2	生涯スポーツの普及・振興	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	18,000 (H27)	18,062 (H22)	15,947 (H23)	C
施策3	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	2,000 (H27)	1,938 (H22)	2,072 (H23)	A

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	学校体育の充実	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	49.9 (H22)	50.8 (H23)	1 いしかわっ子体力アップ推進事業	全公立小・中等学校	499	282	A	継続
								2 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業	中・高校	3,396	2,590	A	継続
	課題2	健康教育の推進	標準体重の児童生徒の割合(小6、中3、高3)	%	小90.00 中90.00 高90.00 (H24)	小89.41 中91.23 高90.35 (H22)	小87.65 中91.80 高88.28 (H23)	心と体の相談支援事業費	教職員・保護者 児童生徒	1,222	629	B	廃止
	課題3	食育の推進	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	55.0 (H27)	49.9 (H22)	50.8 (H23)	体力向上をめざした食育の推進	小・中学校のモデル校	1,500	1,308	B	継続
施策2	課題1	生涯スポーツ活動の推進	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	18,000 (H27)	18,062 (H22)	15,947 (H23)	1 県民スポーツ・レクリエーション祭開催費	県民	6,000	6,000	B	継続
								2 全国スポーツ・レクリエーション祭派遣費補助金	出場選手	7,964	5,668	B	廃止
	課題2	総合型地域スポーツクラブの設立を支援	総合型地域スポーツクラブ設立市町数	市町	19 (H27)	12 (H22)	12 (H23)	広域スポーツ支援センター事業	県民	2,796	2,452	B	継続
施策3	課題1	競技力向上対策	スポーツ指導者(有資格者)数	人	2,000 (H27)	1,938 (H22)	2,072 (H23)	1 選手強化事業	強化指定選手	190,200	190,200	B	継続
								2 高等学校運動部活動強化指定事業	指定運動部	17,500	17,500	B	継続
								3 中学生強化費事業	中学選抜選手	5,900	5,900	A	継続
								4 いしかわっ子駅伝交流大会開催費補助金	小学生	1,000	1,000	A	継続
	課題2	スポーツ医・化学研究成果の活用促進	医科学トレーニング実践者数	人	800 (H24)	1,737 (H22)	1,537 (H23)	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,200	2,200	A	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわっ子体力アップ推進事業	事業開始年度	H19	事業終了予定年度		
		根拠法令	石川の教育振興基本計画			
		・計画等				

作	組	織	スポーツ健康課		
成	職	氏名	課長補佐 佐々木 清嗣		
者	電話番号	076 - 225 - 1853 内線 5645			

**事業の背景・目的**

体力は人間の活動の源であり、その充実を図ることは重要な課題である。しかし、近年生活が便利になったことに加え、スポーツや外遊びに不可欠である「時間」、「空間」、「仲間」の減少により、子ども達が日常的に体を動かす機会も少なくなり、昭和60年頃の体力と比べると体力の低下が全国的に問題となってきた。

本県では、近年体力が回復傾向にあり、体力合計点も全国平均を上回ってはいるが、昭和60年頃の体力までは回復していない。

そこで、児童生徒の体力のより一層の向上を図るため、継続した全県的な取り組みが必要である。

**事業の概要**

- 1 体力アップ1校1プランの取組
  - ・全公立小・中・高等学校が対象
  - ・体力運動能力調査の結果を踏まえた学校独自の体力向上計画の作成・実践
- 2 研究協議会の開催(年1回)
  - ・全公立小・中・高等学校・特別支援学校の体育担当者
  - ・全体会:体力向上に関する講演会
  - ・分科会:体力アップ1校1プランの実践発表
- 3 「スポチャレいしかわ」優秀クラス表彰 (小学校対象)
  - ・インターネットを活用した小学生の運動習慣づくりを推進
  - ・種目別、学年別、部門別に優秀クラスを6位まで表彰

**これまでの見直し状況**

研究指定校による実践研究を2年間(平成19年度・20年度)にわたり実施し、研究成果の普及など一定の成果が得られたため、平成21年度より実践研究は廃止。

施策・課題の状況					
施策	学校体育・健康教育の推進	評価	B		
課題	学校体育の充実				
指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	単位	%		
目標値	現状値				
平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
55.0	45.3	48.6	48.6	49.9	50.8

事業費					
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	2,500	2,000	655	499
	決算	1,854	1,640	466	485
一般	予算	2,500	2,000	655	499
	決算	1,854	1,640	466	485
事業費累計	1,854	3,494	3,960	4,445	4,727

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立つ)	A
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続
左記の評価の理由	
<p>全ての公立小中高等学校を対象とした学校独自の体力向上計画である「体力アップ1校1プラン」の継続した取組により、新体力テストの総合評価が上位ランク(A・B)の者の割合が年々上昇している。</p> <p>また、本県が行う小4から高3までの体力・運動能力調査における体力合計点においても、調査を始めたH18から引き続き上昇傾向を示している。</p> <p>体力は健康の保持増進のみならず、学力向上においても気力の源であり、学習指導要領の理念である「生きる力」の極めて重要な要素である。</p> <p>今後も、本事業により、「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」を継続して実施し、全県的な児童生徒の体力の向上を図っていく。</p>	

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業	事業開始年度	H13	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
		根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 佐々木清嗣
						者 電話番号	076 - 225 - 1853 内線 5645

**事業の背景・目的**

生徒数の減少に伴う教員の減少や、教員の高齢化、専門性を持った指導者不足を解決するため、スポーツ指導者の資格や専門的な技術指導力を備えた地域のスポーツ人材を、運動部活動に活用することにより、専門的指導を求める生徒のニーズに応え、運動部活動の充実と活性化を図る。また、地域のスポーツ人材の活用についての調査研究を行う。

- 事業の概要**
- 1 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業
    - ・派遣対象: 県内公立中学校・公立高等学校
    - ・派遣人数: 中学校 32名・高等学校 20名 計52名
    - ・派遣回数: 1回(2時間程度)×年間20回
  - 2 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業研修会
    - ・期 間: 1日
    - ・対 象: スポーツ人材全員
    - ・講 師: 日赤指導員及び県指導主事

**これまでの見直し状況**

- ・H22より、国庫委託金10/10による

施策・課題の状況						
施策	学校体育・健康教育の推進		評価	B		
課題	学校体育の充実					
	指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合			単位	%
	目標値	現状値				
	平成27年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	55.0	45.3	48.6	48.6	49.9	50.8

事業費						
	(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	6,570	6,570	6,531	1,068	3,396
	決算	6,435	6,432	6,431	3,195	2,590
一般	予算	3,915	3,915	3,876	1,068	0
財源	決算	3,919	3,777	3,651	0	0
事業費累計		60,109	66,541	72,972	76,167	78,757

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	本事業の実施により、中学、高校の運動部活動において、競技の技術や技能の専門的指導を求める生徒のニーズに応えることができるとともに、部員の意欲の向上や連帯感の醸成が図られるなど、部活動の充実と活性化が図られている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	運動部活動は、競技力や体力の向上はもとより、協調性や責任感、自主性の育成など教育的意義の高い活動である。 今後も本事業を継続することにより、運動部活動の一層の活性化を図り、本県競技力の向上とともに、生徒が生涯にわたって自主的・自発的に運動に親しむ資質や能力を身につけ、豊かなスポーツライフの基礎を育むことができるよう努める。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 心と体の相談支援事業費	<b>事業開始年度</b> H17	<b>事業終了予定年度</b> H23	<b>作 組 織</b> スポーツ健康課 健康教育担当
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川の学校教育振興ビジョン	<b>成 職・氏名</b> 指導主事 可長 俊太	<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1847 内線 5646

<p><b>事業の目的</b>                  児童生徒の新たな健康課題として、保健室登校、アレルギー疾患及び感染症等の増加などが問題となっている。学校医は専門領域以外の事例への対応も期待されるようになったが、十分な対応は困難な状況である。                  こうした事態を解決し、児童生徒の様々な健康問題に適切な対応をしていくために、学校医以外の地域の専門医・専門機関との連携を強化し、現代的課題に対処する。</p> <p><b>事業の概要</b></p> <p>1 連絡協議会の開催                  (1)開催回数 年1回(8月)                  (2)委員の構成 県医師会関係者(5),保護者代表(2),学校関係者(4),行政関係者(2)計13名                  (3)協議の内容 事業の内容及び効果的な進め方について</p> <p>2 専門医の学校への派遣                  (1)派遣する期間 平成23年9月～12月                  (2)派遣する人数 延べ8人                  (3)派遣する地区 県内全域                  (4)派遣専門医 産婦人科医、整形外科医、小児科医、精神科医等                  (5)専門医の職務 児童生徒や教職員を対象とした講演会等の講師を担当</p> <p>3 メール等による個別相談医の設置                  (1)期 間 平成23年9月～平成24年1月                  (2)相談医 産婦人科医が担当                  (3)相談対象 全生徒及び教員から                  (4)内 容 メールで相談を受け付け、回答する</p> <p>4 「学校保健推進基本計画」の作成                  1の連絡協議会において、心と体の健康課題を解決するための各種事業をまとめる。</p>	<b>施策・課題の状況</b>						
	<b>施策</b> 学校体育・健康教育の推進		<b>評価</b> B				
	<b>課題</b> 健康教育の推進						
	<b>指標</b> 標準体重の児童生徒の割合(小6、中3、高3)		<b>単位</b> %				
	<b>目標値</b>			<b>現状値</b>			
		平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	小	90.00%	87.51%	89.29%	89.88%	89.41%	87.65%
	中	90.00%	90.30%	90.26%	91.78%	91.23%	91.80%
	高	90.00%	87.02%	88.81%	89.02%	90.35%	88.28%
	<b>事業費</b>						
	<b>(単位:千円)</b>		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	事業費	予算	1,000	1,584	1,839	1,613	1,222
		決算	659	1,400	1,400	877	629
	一般	予算	0	0	0	0	0
		決算	0	0	0	0	0
<b>事業費累計</b>		2,261	3,661	5,061	5,938	6,567	
<b>評価</b>							
<b>項目</b>		<b>評価</b>				<b>左記の評価の理由</b>	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)		B				専門医の学校への派遣により、専門的な内容を対象に応じて分かりやすく話し、児童生徒等参加者に様々な健康問題への理解を深めることができたとともに、派遣を受けた学校に、学校と家庭、専門機関の連携による現代的課題への対処の重要性を周知できた。	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		廃止				本事業においては、これまで延べ150校に専門医等を派遣し、学校と地域の専門医との連携強化を図ってきたところである。 今後は各学校の学校保健委員会等を中心に、地域の専門医と連携して現代課題に対応するための取り組みを推進していく。	

# 事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	体力向上をめざした食育推進事業	事業開始年度	H23	事業終了予定年度		作成者	組織	スポーツ健康課 健康教育担当		
		根拠法令 ・計画等	新学習指導要領、改正学校給食法				職・氏名	指導主事 竹中好美		
							電話番号	076 - 225 - 1853 内線 5678		

**事業の背景・目的**

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きくかかわっており、生きる力を支える重要な要素である。小中学校の新学習指導要領の総則には学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促すことが明記されている。また、改正学校給食法においても、学校における食育の推進が位置付けられている。

しかし、近年食を取り巻く社会の変化により子どもの生活習慣・食習慣は乱れる傾向にある。体力向上を支える健康な生活の柱となる食育の推進と充実は、学校教育及び家庭教育においても重要な課題である。

「学校・家庭・地域の連携」を通して、子ども達に食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせることにより、生活リズムを整え、健やかなからだを形成し、やる気が増し、体力向上につながると考える。

**事業の概要**

- 1 実践研究校の指定
  - ・小学校2校、中学校1校とし、栄養教諭配置校とする。
  - ・「校内体力向上推進委員会」を設置し、核となって推進する。
- 2 家庭・地域連携検討委員会の設置
  - ・委託を受けた実践研究校は家庭・地域と連携した事業の円滑な実施を諮るために「家庭・地域連携検討委員会」を設置する。
- 3 事業の取組の内容  
(体力・運動能力調査等や、食生活・生活習慣・運動習慣等実態調査から、課題の把握)
  - ・各教科等における食育を充実させるための取組
  - ・スポーツ活動（部活動）に効果的な食育を充実させるための取組
  - ・家庭・地域と連携した食育を充実させるための取組
  - ・児童生徒が主体的に取り組む食育の取組
  - ・食育の視点から体育授業の工夫と改善
  - ・遊び・スポーツを充実させるための取組
- 4 研究のまとめ
  - ・公開研究発表会の実施と記念講演
  - ・事業報告書の作成と県内小中学校での活用

施策・課題の状況							
施策	学校体育・健康教育の推進					評価	B
課題	食育の推進						
	指標	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A,B)の割合				単位	%
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	55.00%	45.30%	48.60%	48.60%	49.90%	50.80%	
事業費							
	(単位：千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費	予算	0	0	0	0	1,500	
	決算	0	0	0	0	1,308	
一般	予算	0	0	0	0	1,500	
	決算	0	0	0	0	1,308	
事業費累計		0	0	0	0	1,308	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	児童生徒の生活習慣の乱れに着目し、望ましい食習慣や生活習慣を身に付けることで運動意欲を高め、体力向上を図るため、栄養教諭配置校の小学校2校、中学校1校を研究校に指定し、児童生徒への個別指導の実施や保護者との連携により、意識啓発に留まらない実践的な食育に取り組んでいる。研究校では児童生徒の生活習慣、食習慣の改善へ向けて意識が変容してきている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	今後、研究校において、体力テストの結果やアンケートの結果等から食習慣や生活習慣の改善が体力向上に結びつくことを検証したうえで、研究校での公開研究発表会の開催や教員の研修会での研究校実践報告を通じ、本事業で成果のあった取り組みの県内全小中学校への波及を図る。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費	<b>事業開始年度</b>	H4	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	スポーツ健康課	
		<b>根拠法令・計画等</b>	石川の教育振興基本計画			<b>成 職・氏名</b>	課長補佐	清田 敬夫

**事業の背景・目的**  
 広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、活動の輪を広げ、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実に資する。

**事業の概要**

1	主 催	石川県、石川県教育委員会
2	期 日	平成23年4月～24年1月（中心開催期間5月～6月）
3	参加者数	15,947名
4	内 容	

(1) 種目別大会 43種目

- ・全国スポレク代表選考会を兼ねる種目
- 1 グラウンドゴルフ大会
- 2 ゲートボール大会
- 3 壮年サッカー大会
- 4 ソフトバレーボール大会
- 5 女子ソフトボール大会
- 6 ラージボール卓球大会
- 7 ターゲットバードゴルフ大会
- 8 男女混合綱引大会
- 9 年齢別テニス大会
- 10 年齢別ソフトテニス大会
- 11 バウンドテニス大会
- 12 年齢別バドミントン大会
- 13 壮年ボウリング大会
- 14 インディアカ大会
- 15 フォークダンスフェスティバル
- 16 エアロビック大会
- 17 トランポリン・シャトル大会
- ・その他の種目
- 18 オリエンテーリング大会
- 19 スイミングフェスタ
- 20 ウオーキング大会
- 21 ファミリーサイクリング大会
- 22 ふれあいカヌー大会
- 23 フレッシュテニス交流大会
- 24 武術太極拳大会
- 25 トリムバレーボール大会
- 26 パークゴルフ大会
- 27 マレットゴルフ交流大会
- 28 ユニホック大会
- 29 ビリヤード大会
- 30 タグラグビー大会
- 31 パドルテニス大会
- 32 クライミング大会
- 33 スポーツチャンバラ大会
- 34 ビーチボール交歓大会
- 35 ペタンク大会
- 36 リズムダンスの集い
- 37 フライヤーフェスタ
- 38 キンボール大会
- 39 3B体操
- 40 ふれあいドッジボール大会
- 41 ウオークラリー
- 42 グランドヤード大会
- 43 バリアフリーディスクゴルフ大会

(2) ニュースポーツ体験広場  
 開催地：2市1町（金沢市・七尾市・能登町）  
 主管団体：開催市スポーツ主管課  
 実施種目：ニュースポーツ体験、囲碁ボールなど

(3) 協賛大会  
 開催地：総合型地域スポーツクラブの創設されている地域 計15地域  
 主管団体：総合型地域スポーツクラブ（15クラブ）  
 実施種目：ニュースポーツ体験、マリンスポーツ、スキー・スノーボードなど

これまでの見直し状況  
 ※総合型地域スポーツクラブとは  
 子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)特徴のある行事や事業を実施し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興	<b>評価</b>	C			
<b>課題</b>	生涯スポーツ活動の推進					
<b>指標</b>	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	<b>単位</b>	人			
<b>目標値</b>	現状値					
平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
18,000	17,079	18,783	16,171	18,062	15,947	
事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業費</b>	予算	6,370	6,230	6,216	6,000	6,000
	決算	6,370	6,230	6,216	5,819	6,000
<b>一般</b>	予算	840	1,127	1,686	2,167	2,730
	決算	802	820	1,398	1,630	2,563
<b>事業費累計</b>		168,143	174,373	180,589	186,408	192,408
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役立った)	B	種目別大会やニュースポーツ体験広場ならびに協賛大会には、男女を問わず幅広い年齢層が参加しており、県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、互いの交流を深めるなど、明るく生き生きとした県民生活の充実に寄与している。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県生涯スポーツの振興のため、各種目団体、市町、総合型地域スポーツクラブの協力を得て、多くの方が参加できるよう時期や実施内容などについて関係団体と協議しながら開催を継続するとともに、参加者の拡大のため、参加の形態や、協賛大会・ニュースポーツ体験広場の拡大に努める。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	全国スポーツ・レクリエーション祭派遣費補助金	事業開始年度	S63	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

<b>作</b>	組	織	スポーツ健康課
<b>成</b>	<b>職・氏名</b>	課長補佐 清田 敬夫	
<b>者</b>	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1852 内線 5679	

**事業の背景・目的**

平成23年11月5日から11月8日まで、栃木県で開催される第24回全国スポーツ・レクリエーション祭に県の代表を派遣することにより、生涯スポーツの普及振興を促進し、健康で明るく、生き生きとした生活を広く県民に発揚する。

- 事業の概要**
- 1 大会名 第24回全国スポーツ・レクリエーション祭
  - 2 期 日 平成23年11月5日(土)～11月8日(火)
  - 3 会 場 栃木県内(22市町)
  - 4 参加者 選手・監督 166人 本部役員 7人
  - 5 内 容
    - ◎開会式
      - 期 日 平成23年11月5日(土)
      - 会 場 栃木県総合運動公園 陸上競技場

- ◎都道府県代表参加種目と開催地 計18種目
- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ 矢板市</li> <li>・ゲートボール さくら市</li> <li>・壮年サッカー 宇都宮市</li> <li>・ソフトバレーボール 宇都宮市</li> <li>・女子ソフトボール 那須塩原市</li> <li>・ラージボール卓球 日光市</li> <li>・ターゲットバードゴルフ 市貝町</li> <li>・男女混合綱引 大田原市</li> <li>・年齢別テニス 宇都宮市</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢別ソフトテニス 栃木市</li> <li>・バウンドテニス 真岡市</li> <li>・年齢別バドミントン 宇都宮市</li> <li>・壮年ボウリング 宇都宮市</li> <li>・マスターズ陸上競技 宇都宮市</li> <li>・インディアカ 鹿沼市</li> <li>・フォークダンス 小山市</li> <li>・エアロビック 那須町</li> <li>・トランポリン 栃木市</li> </ul> |
|--|--|

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	C
課題	生涯スポーツ活動の推進					
	指標	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	18,000	17,079	18,783	16,171	18,062	15,947

事業費						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費	予算	10,705	6,100	11,562	4,111	7,964
	決算	7,477	3,767	7,974	2,524	5,668
一般	予算	10,705	6,100	11,562	4,111	7,964
	決算	7,477	3,767	7,974	2,524	5,668
事業費累計		35,244	39,011	46,985	49,509	55,177

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	全国大会への派遣支援により、県民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起するとともに、全国に「スポーツ石川」をアピールするなど本県生涯スポーツの振興が図られた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	全国スポーツ・レクリエーション祭は、平成24年度以降の開催県が決定せず、主催4団体による協議の結果、平成23年度の栃木大会をもって廃止となった。 今後は、県下全域において、年間を通じてさまざまなスポーツ種目を実施している県民スポーツレクリエーション祭の開催により、関係団体と連携し、本県の生涯スポーツの振興を図っていく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	広域スポーツ支援センター事業	<b>事業開始年度</b>	H16	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令・計画等</b>	石川の教育振興基本計画		

<b>作</b>	<b>組</b>	スポーツ健康課			
<b>成</b>	<b>職・氏名</b>	課長補佐	清田	敬夫	
<b>者</b>	<b>電話番号</b>	076	-	225	-
				1852	内線 5679

**事業の背景・目的**

地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの創設を進め、運営をサポートする。クラブ創設・運営のためにクラブマネジャーの養成や指導・助言を行う講師の派遣を行うとともに大学とクラブの連携を推進する。また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

**事業の概要**

- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
- 2 大学とクラブの連携事業(クラブネットいしかわ)の開催
- 3 総合型地域スポーツクラブへの指導者派遣
- 4 市町クラブ創設支援指導者派遣
- 5 クラブマネジャー養成講習会、クラブマネージャースキルアップ講習会の開催
- 6 文部科学省等への会議出席、県内巡回指導
- 7 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用

**これまでの見直し状況**

平成16・17年度に国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施し、平成18年度よりは県単独事業として、広域スポーツ支援センター事業を行っている。

※総合型地域スポーツクラブとは  
子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)特徴のある行事や事業を実施し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

<b>施策・課題の状況</b>						
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興				<b>評価</b>	C
<b>課題</b>	総合型地域スポーツクラブの創設を支援					
<b>指標</b>	総合型地域スポーツクラブ創設市町数				<b>単位</b>	市町
<b>目標値</b>	現状値					
平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
19	9	9	12	12	12	
<b>事業費</b>						
(単位:千円)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業費</b>	予算	3,439	3,439	2,570	2,422	2,796
	決算	3,436	3,398	2,521	2,224	2,452
<b>財源</b>	予算	3,439	3,439	2,570	2,422	2,796
	決算	3,436	3,398	2,521	2,224	2,452
<b>事業費累計</b>		21,996	25,394	27,915	30,139	32,591
<b>評価</b>						
<b>項目</b>	<b>評価</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	<b>B</b>	これまで地域スポーツ振興の核となる総合型地域スポーツクラブの創設・育成を進めてきており、県内市町におけるクラブ数は増加してきている。(H22:27クラブ、H23:30クラブ)さらに、クラブの未育成市町においても、クラブネットいしかわの働きかけにより、クラブ創設への動きが見られるようになった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<b>継続</b>	国の「スポーツ基本計画」や本県スポーツ振興策の一つに掲げる、総合型地域スポーツクラブの創設及び運営の支援を今後とも進めていく。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 選手強化事業	<b>事業開始年度</b> 昭和38年度	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> 石川県教育委員会スポーツ健康課
	<b>根拠法令・計画等</b>	石川県スポーツ振興基本計画	<b>成 職・氏名</b> 課長補佐 清 田 敬 夫 <b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1852 内線 5679

**事業の背景・目的**  
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「千葉国体」での天皇杯得点順位、9年連続20位台以内を踏まえ、短・中期的な計画のもとにさらなる上位入賞をめざすとともに、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を目指す。

**事業の概要**

1 選手強化事業

(1) 目的  
国民体育大会で実施される40競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施する。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(2) 成年強化事業

ア 基礎事業  
対象者 40競技 793人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)  
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等

イ 重点事業  
対象者 過去2回(64、65回)の国体で実績ある競技団体  
北信越大会で実績のある競技団体  
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(3) 少年(中・高)強化事業

ア 基礎事業  
対象者 38競技 696人(監督・コーチ・強化選手)  
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

イ 重点事業  
対象者 過去2回(64、65回)の国体で実績ある競技団体  
北信越大会で実績のある競技団体  
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

**備考**  
期 間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

2 一貫指導ジュニア育成事業

(1) 目的  
作成した一貫指導プログラムを基にジュニア競技者の育成を図り、競技力向上につなげる。

(2) 対象  
指定した6競技団体

3 体育団体組織強化事業

(1) 目的  
国体開催以外の各競技の組織及び選手強化事業を実施する。

(2) 対象 15団体  
綱引連盟、トランポリン協会、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング連盟、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協議会、バウンドテニス協会、トライアスロン協会、ボールルームダンス連盟

**これまでの見直し状況**  
平成14年度より重点事業を取り入れ配分方法を見直す。

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化				<b>評価</b>	A	
<b>課題</b>	競技力向上対策						
	<b>指標</b>	スポーツ指導者(有資格者)数				<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	2000	1787	1853	1903	1938	2072	
国民体育大会	<b>目標</b>	20位台前半	20位台前半	20位台前半	20位台前半	20位台前半	
総合順位	<b>実績</b>	25	22	22	22	31	
事業費							
	(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
<b>事業費</b>	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200	
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200	
<b>一般財源</b>	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200	
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	190,200	
<b>事業費累計</b>		5,035,371	5,225,571	5,415,771	5,605,971	5,796,171	
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役立ったか)	B	国民体育大会天皇杯順位は、10年連続20位台以内はならず31位となったが、各種競技において本県を代表する選手の全国大会上位入賞や国際大会の日本代表選手に選出され入賞を果たすなど、選手強化は有効である。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県のスポーツ振興には、全国大会等で優秀な成績を収め、県民に夢や希望と感動を与えられるよう選手強化とともに、指導者の養成に努めなければならない。 また、競技力向上のための競技別一貫指導体制確立に向けて指導者の資質向上に努めるとともに、国民体育大会40競技以外の競技団体についても組織強化を図ることが本県スポーツ全体の発展につながることから、引き続き事業を実施していく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高等学校運動部活動強化指定事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度		作成者	組織	スポーツ健康課
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画			職・氏名	指導主事 居村 吉記	
				電話番号	076 - 225 - 1852 内線 5681		

**事業の背景・目的**  
 全国大会等(全国高体連が主催または共催する大会および国民体育大会)で優秀な成績を収めるため選手育成の拠点となる県内高等学校運動部を指定し、重点的な強化を推進する。

**事業の概要**

1 指定期間  
 平成23年4月1日～平成24年3月31日

2 指定方法  
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県教育委員会で審査の上、県教育長が指定する。

3 指定基準

**【団体】**  
 <A指定>  
 平成23年度の全国大会において団体4位以上の入賞が期待できる運動部  
 <B指定>  
 平成23年度の全国大会において団体8位以上の入賞が期待できる運動部

**【個人】**  
 <A指定>  
 平成23年度の全国大会において個人4位以上の入賞が期待できる運動部  
 <B指定>  
 平成23年度の全国大会において個人8位以上の入賞が期待できる運動部

**【駅伝強化】**  
 平成22年度の県予選会において、男女上位各2チームが強化指定校

**【特別強化】**  
 平成23年度に指定された競技で、県総体・北信越大会等をへて全国大会の代表権を獲得した運動部

4 全国総体特別強化  
 平成24年度全国高等学校総合体育大会における、本県開催4競技の県高体連4専門部の強化を図る

これまでの見直し状況  
 平成17年度 配分方法見直し  
 平成20年度 個人指定見直し  
 平成21年度 スペシャルコーチ招聘事業追加  
 平成23年度 配分方法の見直し

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	A
課題	競技力向上対策						
指標	スポーツ指導者(有資格者)数					単位	人
目標値	現状値						
	平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	2,000	1,787	1,853	1,903	1,938	2,072	
強化対象競技数	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	24	27	27	22	24		
強化対象部数	目標	60	60	60	60	60	
	実績	55	65	63	67		
事業費							
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
事業費	予算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
	決算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
一般	予算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
	決算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
財源	予算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
	決算	22,500	22,500	22,500	22,500	17,500	
事業費累計		420,400	442,900	465,400	487,900	505,400	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役立ったか)	B	本事業によって本県高校生の全国高校総体をはじめとする各種全国大会等での入賞が期待できるとともに、県内運動部活動の活性化につながるものであり有効である。					
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	高校運動部活動は、毎年主力となる3年生が卒業し新たに新入生が加わるため、継続して強化していくことが、全国大会等で好成績を収めることや運動部活動の活性化につながる。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	中学生強化費補助金	<b>事業開始年度</b>	H5	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	教育委員会 スポーツ健康課	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川の教育振興基本計画				<b>成 職・氏名</b>	指導主事 石川 貴之
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1852 内線 5682

**事業の背景・目的**

全国大会等(全国中体連が主催または共催する大会)において優秀な成績を収めるとともに、将来国民体育大会少年の部選手として活躍できるように計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

**事業の概要**

- 1 実施競技  
県中学校体育連盟に加盟の18競技
- 2 対象  
県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者
- 3 期間  
事業の実施期間は、原則として下記のとおりとする。  
平成23年4月1日～平成24年3月31日
- 4 内容  
県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画し実施する。
- 5 経費  
県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で補助する。
- 6 実施上の留意点  
(1) 事業の日程は、各学校の教育活動に支障のないように配慮すること。  
(2) 事業への参加については、当該学校長及び保護書の承諾を得ること。  
(3) 事業に参加する指導者及び選手は、スポーツ安全保険に加入することを原則とする。

**これまでの見直し状況**

- ・平成17年度より、配分方法の見直し実施。
- ・従来のランク制より、基礎配分、実績配分、加入率配分、調整配分の4配分の合計とした。
- ・陸上競技専門部に対して駅伝選抜合宿助成及び中学校駅伝県代表校男女各1チームに駅伝試走

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	A
課題	競技力向上対策						
指標	スポーツ指導者(有資格者)数					単位	人
目標値	現状値						
平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
2,000	1,787	1,858	1,903	1,938	2,072		
北信越総体	目標	34	34	34	34		
優勝数	実績	25	36	34	25		
事業費							
(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
事業費	予算	8,000	6,000	6,000	6,000	5,900	
	決算	8,000	6,000	6,000	6,000	5,900	
一般	予算	8,000	6,000	6,000	6,000	5,900	
財源	決算	8,000	6,000	6,000	6,000	5,900	
事業費累計	90,834	96,834	102,834	108,834	114,734		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	本事業によって平成23年度全国中学校体育大会で2競技が優勝するなど、本県中学生の全国中学校体育大会をはじめとする各種全国大会等での入賞が期待できるとともに、県内中学校運動部活動の活性化と競技人口の確保につながり、有効である。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県スポーツの基盤をなす中学生の競技力を維持向上することは、将来の高校生や成年選手としての活躍につながるものである。また、少子化における競技人口の減少や競技のハイレベル化に対応するためにも、今後も本事業を継続していく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> いしかわっ子駅伝交流大会開催費補助金	<b>事業開始年度</b> 平成18	<b>事業終了予定年度</b> :	<b>組織</b> :スポーツ健康課 <b>職・氏名</b> :指導主事 岸 一盛 <b>電話番号</b> : 076 - 225 - 1852 内線 5681
	<b>根拠法令・計画等</b>	石川の教育振興基本計画	

**事業の背景・目的**

本県駅伝競技力向上のため、小学生の早い段階から駅伝を体験させることにより駅伝競技の競技者の底辺拡大と長距離走(持久走)の正しい技能を習得し、心身の健全な育成並びに体力の向上を目指すとともに、児童相互の親睦を図ることを目的とする。

**事業の概要**

1 主催 石川県 石川県教育委員会

2 主管 いしかわっ子駅伝交流大会実行委員会

3 内容

(1)対象  
小学校5, 6年生 学校単位としたチーム  
男女各チーム7名 (選手5名、補欠2名) 計 男女各90チーム

(2)開催時期  
平成23年11月3日(木・祝) 開会式 9:00 女子スタート 10:10 男子スタート 11:00

(3)場所  
県西部緑地公園内特設周回コース 各区間 1.5km

**これまでの見直し状況**

中学生駅伝金城・兼六園大会(H13~17)を継承して実施  
 第1回大会は17市町から男子60チーム、女子49チームの623名参加となる。  
 第2回大会は17市町から男子57チーム、女子50チームの613名参加となる。  
 第3回大会は17市町から男子73チーム、女子60チームの781名参加となる。 助成が減額  
 第4回大会は14市町から男子51チーム、女子43チームの532名参加となる。  
 第5回大会は17市町から男子83チーム、女子82チームの1118名参加となる。 助成が減額  
 第6回大会は17市町から男子90チーム、女子90チームの1167名参加となる。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化				<b>評価</b>	A
<b>課題</b>	競技力向上対策					
	<b>指標</b>	スポーツ指導者(有資格者)数			<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	平成27年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	2,000	1,586	1,787	1,853	1,903	2,072
事業費						
	(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業費</b>	予算	2,000	1,600	1,600	1,000	1,000
	決算	2,000	1,600	1,600	1,000	1,000
<b>一般</b>	予算	2,000	1,600	1,600	1,000	1,000
	決算	2,000	1,600	1,600	1,000	1,000
<b>財源</b>	決算	2,000	1,600	1,600	1,000	1,000
<b>事業費累計</b>		4,000	5,600	7,200	8,200	9,200
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	年々、男女ともに参加チーム及び参加者数が増加するなど、駅伝に対する関心が高まっている。 駅伝競走を通して、心身の健全な育成と児童相互の親睦を図るとともに、体力の向上と小学生期の長距離走・持久走の正しい技能の習得、また、駅伝に親しむよい機会となり有効である。 (参加チーム H22 165チーム → H23 180チーム) (参加者数 H22 1,118人 → H23 1,167人)				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本事業は小学生の基礎体力の向上を図るとともに、駅伝競走の強化に結びつく底辺拡大と人材発掘を目指すものであることから継続して取り組む。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	科学的トレーニング特別強化事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ健康課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	指導主事 岸 一盛
						電 話 番 号	076 - 225 - 1852 内線 5681

**事業の背景・目的**

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

**事業の概要**

- 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手109名
- 内容
  - (1) 講師招聘による研修会
  - (2) 基礎体力測定
  - (3) 専門体力測定・分析
  - (4) トレーニング処方作成・提示
  - (5) トレーニング実践指導
  - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成  
 ※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施
- 会場 いしかわ総合スポーツセンター
- 期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- 強化事業指定人数

(単位:人)					
団体名	成年	少年	団体名	成年	少年
スキー	1	9	ソフトテニス		12
水泳	1	7	卓球		8
ボート		1	フェンシング		8
カヌー	1	3	ソフトボール	3	
陸上		1	バドミントン		6
テニス		1	弓道	3	
バレーボール	12		ライフル射撃	2	
バスケットボール	10		空手道	1	
レスリング		4			
ハンドボール	15				
合計			49	60	

これまでの見直し状況  
 平成21年度助成減額。  
 平成22年度助成減額。  
 平成23年度助成減額。

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	A	
課題	スポーツ医・科学研究成果の活用促進						
	指標	医学科学トレーニング実践者数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	800	66	640	1,306	1,737	1,537	
事業費							
	(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費	予算		4,000	3,600	3,240	2,200	
	決算		4,000	3,600	3,240	2,200	
一般財源	予算		4,000	3,600	3,240	2,200	
	決算		4,000	3,600	3,240	2,200	
事業費累計		0	4,000	7,600	10,840	13,040	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	本県では国の機関であるJISSとの連携により、最新の情報をもとにいしかわ総合スポーツセンターの科学トレーニング機能を活かし、競技力向上に努めている。 本事業におけるトレーニングや実践指導によるセミナーは、事業対象者から好評を得るとともに、国体をはじめとする全国大会等での上位入賞につながるなど有効である。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり)	継続	全国的にも国体や国際大会等で活躍している多くの選手は、科学トレーニングを実践しており、本県においても最新の情報をもとに競技力向上を目指し、継続して取り組んでいく。					